

2025年3月21日

私学会館アルカディア市ヶ谷

INAF 第30回研究会・政策セミナーでの挨拶

平川均

研究会の開催に当たりまして、東北亜未来構想研究所について簡単にご説明させていただきます。

東北亜未来構想研究所、通称 INAF は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう最中の 2020 年 10 月に、一般財団法人として発足しました。2020 年は温井鋼哲、旧姓で李鋼哲所長の還暦の年に当たり、温井所長のアジアの共生と繁栄への強い思いが設立の契機になっております。温井所長は中国の朝鮮族の出身で、中国の大学を卒業後、来日し日本の国籍を持つに至った北東アジアの研究者です。そのアイデンティティは北東アジアの国境を跨いでおり、この地域に豊富な人的なネットワークがあります。

その財産を活かして、東北アジア地域の相互理解と信頼醸成を目指そうという思いを持つ人々が集まったのが本研究所です。皆様のご理解とご支援を得て今後も発展を目指したいと思っております。

さて、本日のセミナーは、日朝国交正常化に向けて知恵を出し合うことを主題としております。通常、私達が北朝鮮と呼ぶこの国との国交正常化では、極めて大きな課題に直面している一方、それに関する情報はほとんど限られている状況にあります。

本日は、平和外交研究所所長・元日朝国交正常化交渉日本政府代表を務められ、現在、INAF 最高顧問にもなって頂いております美根慶樹（みね・よしき）先生のご講演を頂いたのち、和田春樹先生を始め、この国と東アジア情勢に関して深い知識と経験をお持ちの 5 名の先生方にパネリストとして加わって頂き、日朝間の正常化に向けて議論をして頂きます。本政策セミナーが有意義なものになることを切に期待しております。

簡単ですが、私からのご挨拶とさせていただきます、本日のモデレーターである川口智彦（かわぐち・ともひこ）INAF 副理事長・日本大学准教授にバトンを戻させていただきます。

ありがとうございました。